



一度、汚れた自然は 元にもどすのは大変です

きれいな街に住みたい―豊かな自然、さわやかな空気の中での生活は、だれもが望むことです。しかし、こうしたささやかな夢も人間は目の前の便利さと、かけがえのない自然を引き替えにしていまいしました。

幸い都留市には、大切な自然がまだのこっています。市民にとってこの水と緑はかけがえのない宝物なのです。まもっていかねければならないのです。わたしたちが、ほんのすこしのやさしさを自然にむければ、自然はかわらない姿をわたしたちにみせてくれます。

現実を見つめ直してください。空き缶だらけのごみの山。洗剤入りのどぶ川。人々のモラルも低下してしまったのでしょうか。

殊に水は、人間が生きていくためには絶対必要な資源です。だれでも水をまったく使わない日なんてないはず。水が無ければ、生きていくことはできないのです。せつかく自然がくれた大切な水ですから、細心の注意を払って自然にかえしてあげなければなりません。

油や、洗剤などを一緒に流してはいませんか。自然がいやがることをしていませんか。こうした生活排水が大切な都留市の水資源を大変な危機に陥れようとしています。今回は、水に焦点をあて、わたしたちができることを考えてみようと思います。